



奈良市で財政の勉強会を開催！

約150名の職員の方に対して、財務状況等に関する勉強会を実施しました。

令和7年12月4日
財務省 近畿財務局 奈良財務事務所
きんざいNEWS VOL.156

ファイナンス勉強会

財政に関する知識を深める
お手伝いをさせていただきます

奈良財務事務所は、自治体の運営や政策立案の基礎となる「財政」に関する知識を深め、自治体が抱える財政面や地域の課題解決のきっかけを見つけるお手伝いをさせていただくことを目的として、「ファイナンス勉強会」を実施しています。

財政・経済の現状に触れる

地方財政と密接に関係する国の財政状況や奈良県下の経済情勢などの概要について、ご説明いたします。

自治体の財務状況を深く知る

客観的指標に基づいた財務状況の分析結果や財政面の課題を解決するためのヒントになる情報について、ご提供いたします。

【当日のプログラム】

1. 地域社会が抱える課題
2. 政府の経済財政運営について
3. 奈良市の財務状況について
～財務状況把握ヒアリングより～
4. 持続可能な行財政運営に向けて

勉強会のオファーに至るまで

近畿財務局では、財政融資資金（※）の貸し手という立場に基づき、財政融資の償還確実性を確認する観点から、借り手である地方公共団体に対して、財務状況把握ヒアリングを実施しています。

その結果を首長等にお伝えしていますが、多くの方にご自身が所属する地方自治体の財務状況を改めて知っていただくために、地方自治体職員、議会への説明会の開催などを提案しています。

奈良県内では、財政面に課題を抱えている自治体も多いことから、より良い行財政運営について改めて議論するきっかけになるかもしれない、また、課題解決の一助になるかもしれないと考え、パンフレットを作成し、当局の取組についてご案内しました。

その結果、今年度は、奈良市さんから、勉強会のオファーを頂戴するに至りました。

- ①市長や幹部の方に財務局の活動に興味を持っていただけたこと
- ②財政担当者や人材育成担当者の方の意識が高く、「奈良市」の財政を外部からの目線で見つめ直す必要性を感じておられたことが大きなきっかけとなりました。

（※）住民生活に密着した社会資本整備や災害復旧等のニーズに対応するため、地方債計画に基づき、地方自治体へ資金を供給（融資）しているものです。

パンフレットで
当局の取組をご案内！

問題認識・ご要望を踏まえ、
勉強会のプログラムを設定！

2 開催までの道のり

問題認識やニーズを深掘りするため、財政担当課と複数回の打ち合わせを実施し、その過程で、職員の財政に対する知識・関心をどのように向上させるべきか、財政担当課でも課題を抱えていることが分かりました。

要望の全てに当局が応えることは難しいものもありましたが、可能な限り資料を工夫して、当日を迎えました。



奈良財務事務所の10の取組

5 地域と協働しよう



7 地方財政の理解を深めよう





アンケートの声

係長や新採など、より幅広い層にも勉強会をしてほしい！

「財政」を勉強する重要性を改めて実感した！

対象者は150名規模に！

ポジティブな意見を沢山いただき
当局にとっても奈良市さんにとっても
色々な気づきがありました！

3 当日の様子

当初、奈良市さんの課長・補佐クラス100名程度が受講するという話でしたが、課長・補佐クラス以外の職員から多数参加要望が寄せられたことから、会場の枠を増やして約150名規模の勉強会となりました。

(勉強会終了後も録画データが研修教材として職員の方に配信されました。)

人材育成担当者からは、こうした要望があることは珍しいとお聞きし、まちの財政について、職員の方が高い関心を持っていることが伺えました。

4 勉強会を終えて

アンケートを実施しましたが、好評の声を多くいただきました。その他にも、「もっと実務的なことを聞きたかった」「財政課からの研修を希望する」という積極的な声も寄せられていました。

後日、財政担当者や人材育成担当者と勉強会について意見交換を行いました。奈良市さんにとっても驚きや新鮮な発見があったとのことで、早速、来年度実施する職員向けの研修で何か工夫ができないか検討を進めているとお伺いしました。奈良市さんとは今後も連携の可能性を探っていくことで認識を共有しました。

大規模の勉強会だったからこそ、当局においても気付かされることが多々ありました。また、微力ながら財政に対する知識・関心の向上を図るきっかけになれたのではと感じているところです。

近畿財務局では、地域課題の解決に向けたお手伝いをさせていただいております。引き続き、地域の方が抱える課題・ニーズに応じて、地域貢献に取り組んでいきたいと考えています。

